

PROGRAM 2 Koshien Project in Africa (実施時期：5月／配当時間：8時間)

GOALS：対話：いつ何をするのかや、条件などについて伝え合う。／対話：「アフリカ甲子園」について理解し、伝える。／発表：子どものころの思い出について書く。

言語材料：接続詞

- ① 接続詞 (that) I **don't think (that)** baseball is popular in Africa. / I **think (that)** Mr. Tomonari is a passionate person.
- ② 接続詞 (when) **When** he worked in Ghana, he coached the national team.
- ③ 接続詞 (if) **If** children learn baseball, they will learn good manners too.

課の概要 健とアーニャはアフリカ諸国で野球を指導する友成晋也さんについて話している。彼の「甲子園プロジェクト」が目指すものはどのようなことか。

時	コーナー名	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
		知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く		登場人物や自分の考えについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 ＜知識＞ 接続詞 thatの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 接続詞 thatの意味や働きの理解をもとに、登場人物や自分の考えについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
2時		Listen	聞く		登場人物や友だちがいつ何をするのかについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 ＜知識＞ 接続詞 whenの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 接続詞 whenの意味や働きの理解をもとに、登場人物や友だちがいつ何をするのかについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
3時		Listen	聞く		登場人物や友だちがある条件下では何をするのかについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 ＜知識＞ 接続詞 ifの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 接続詞 ifの意味や働きの理解をもとに、登場人物や友だちがある条件下では何をするのかについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
4-6時	本文		聞く 読む	聞く 読む	友成さんの活動について他の人に伝えるために、対話や記事を読んで、概要や要点を捉えることができる。	【思・判・表】 -- 【主】 友成さんの活動について他の人に伝えるために、対話や記事を読んで、概要や要点を捉えている【捉えようとしている】。
7時	Review & Retell		発表	発表	友成さんの活動について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、絵や写真を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。	【思・判・表】 -- 【主】 友成さんの活動について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、絵や写真を見て、相手に示しながら概要を話している【話そうとしている】。
8時	Action		発表	発表	自分の子どものころの思い出を相手に伝えるために、当時したことや自分の考えなどを具体的な内容とともに書くことができる。	【思・判・表】 -- 【主】 自分の子どものころの思い出を相手に伝えるために、当時したことや自分の考えなどを具体的な内容とともに書いている【書こうとしている】。